

(仮称)新南部工場施設整備事業に係る  
生活環境影響調査書  
縦覧状況及び意見に対する見解について

平成 22 年 12 月

福岡都市圏南部環境事業組合

## 1 . 調査書の縦覧状況

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に定められる対象事業の生活環境影響調査を作成し、福岡都市圏南部環境事業組合が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例（平成22年条例第7号）第3条の規定に基づき、下記の期間及び場所において生活環境影響調査書を公衆の縦覧に供しました結果、縦覧者は0名でした。

- ・ 事業実施区域周辺の9地区に対して、本調査書の説明会を開催しました。（計182名出席）
- ・ 住民の方が本調査書を常時閲覧できるように、説明会実施会場に配置しました。
- ・ 本調査書をホームページに公表しました。

- ・ 縦覧期間：平成22年10月1日(金)～10月31日(日)
- ・ 縦覧場所： 福岡都市圏南部環境事業組合  
春日市地域生活部環境課

## 2 . 生活環境保全上の見地からの意見の内容と意見に対する見解

### (1) 意見書の提出について

福岡都市圏南部環境事業組合が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例（平成22年条例第7号）第6条の規定に基づき、平成22年11月14日まで生活環境保全上の見地からの意見を求めました。

- ・ 意見書の提出期限：平成22年11月14日(日)
- ・ 意見書の受付場所：福岡都市圏南部環境事業組合
- ・ 意見書の提出件数：1件（うち意見数2件）

(2) 意見の内容と意見に対する見解

寄せられた意見の内容と意見に対する見解は以下のとおりです。

項目	意見の内容	見 解
大気質	<p>(1) 本年6月から7月にかけて、東京二十三区清掃組合の4工場において、水銀混入ごみの搬入によると思われる焼却炉が停止する事態が相次いで発生したが、同様な原因によって煙突から水銀のまき散らしが起こることはないのか。</p> <p>煙突出口の水銀ガス濃度を監視されるのか、またどのような監視濃度で緊急停止されるのか。是非とも対策を講じていただきたい。</p>	<p>(1) (仮称)新南部工場のごみの受け入れについては、一般廃棄物としているため水銀混入の可能性は低いとは思われますが、同様な事態が発生しないように関係市町と連携を図りながら、不適正ごみに対する持ち込み禁止の啓発を行うとともに、施設では十分な搬入監視体制のもと、水銀の混入を防ぎます。</p> <p>煙突出口の水銀ガス濃度の監視については、煙道中水銀濃度計による連続監視を行うとともに定期的(1回/月)に分析機関による計測を行います。</p> <p>また、連続監視測定データ(1時間平均値)が停止基準値0.025(mg/m<sup>3</sup>N)を超過した場合は、速やかに焼却施設の運転を停止します。</p>
大気質	<p>(2) 新南部工場が計画されている春日市は丘陵地が広がる、複雑な地形で構成される地域です。そのため、調査書4-17ページには「地形の影響を考慮した大気拡散計算による予測」とされているのは妥当だと思います。しかしながら、5.1-37~5.1-48ページの予測手法には地形の影響を考慮する記述が皆無となっており、一体どちらの記述が正しいのでしょうか。</p> <p>一方で、5.1-50ページ以降の予測結果図を拝見すると、谷間の濃度が低くなったり、高くなったりしているので、地形の影響を考慮されているようにも思えます。どのような予測式で計算されているのでしょうか。もしかして、5.1-42ページのプルーム式やパフ式のz(高さ)に標高を入れて計算されたのであれば、噴飯ものでしょう。</p>	<p>(2) 大気拡散計算による予測は、地形の影響を考慮して予測を行いました。</p> <p>予測計算式は、プルーム式、パフ式のみならず、複雑地形が存在する場合に使用するERT-PS DMモデル(ごみ焼却施設環境アセスメントマニュアル記載)を用いて行いました。</p> <p>排出ガスが、地形の起伏に応じて流れる特性を考慮した拡散モデル。</p>